

## 2020年度後期 講義概要

授業科目名	公衆衛生看護活動プロセス
主担当教員名	伊藤美樹子
配当学年 等	3
学習目標	公衆衛生看護活動の目的は地域全体の健康レベルの向上である。 特定された地域（集団）の中でも特に困難かつハイリスクな健康課題について、課題の成立過程や、問題の分布、将来への影響をアセスメントした上で、公衆衛生看護として一般住民を含めて対応可能な保健事業を企画する。 また健康課題に対して、行政が行うという特徴を踏まえて、事業の成り立ちや活動の効果の捉え方、事業評価についての知識を深めるとともに、資料の分析や作成を通して公衆衛生看護活動を展開するための基本的能力を養う。
授業概要	困難かつハイリスクな健康課題についての事例についてグループワークでの話し合い、発表、講評を行う。 個と集団の利益、効率性、優先度の判断など倫理的課題を含む活動の対応についてを理解する。 公衆衛生看護の基本的な知識や保健師の専門性の理解を深める。

## 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題有・無	授業形式(原則、対面。)
令和 2年12月16日(水)	2時限	伊藤・田淵	母子保健ハイリスク事例	事例を用いた課題の成立過程や、問題の分布、将来への影響をアセスメントと対応の考察	無	対面
令和 2年12月16日(水)	3時限	伊藤・田淵	母子保健ハイリスク事例	事例を用いた課題の成立過程や、問題の分布、将来への影響をアセスメントと対応の考察	有	対面
令和 2年12月21日(月)	3時限	伊藤・田淵	結核集団感染の事例	事例を用いた課題の成立過程や、問題の分布、将来への影響をアセスメントと対応の考察	無	対面
令和 2年12月21日(月)	4時限	伊藤・田淵	結核集団感染の事例	事例を用いた課題の成立過程や、問題の分布、将来への影響をアセスメントと対応の考察	有	対面
令和 3年01月07日(木)	3時限	伊藤・田淵	超多剤耐性結核の事例	事例を用いた課題の成立過程や、問題の分布、将来への影響をアセスメントと対応の考察	無	対面
令和 3年01月07日(木)	4時限	伊藤・田淵	超多剤耐性結核の事例	事例を用いた課題の成立過程や、問題の分布、将来への影響をアセスメントと対応の考察	有	対面
令和 3年01月12日(火)	3時限	田中・伊藤・田淵	地域課題の施策化1	保健・医療・福祉にかかる公共政策を作るための基本的視点と手法の理解	無	対面
令和 3年01月12日(火)	4時限	田中・伊藤・田淵	地域課題の施策化1	保健・医療・福祉にかかる公共政策を作るための基本的視点と手法の理解	有	対面
令和 3年01月21日(木)	3時限	田中・伊藤・田淵	地域課題の施策化2	保健・医療・福祉にかかる公共政策を作るための基本的視点と手法の理解	無	対面
令和 3年01月21日(木)	4時限	田中・伊藤・田淵	地域課題の施策化2	保健・医療・福祉にかかる公共政策を作るための基本的視点と手法の理解	有	対面
令和 3年01月26日(火) :	1時限	伊藤・田淵	産業保健領域における公衆衛生看護活動プロセス (*学外)		無	学外
令和 3年01月26日(火) : (予定)	2時限	伊藤・田淵	産業保健領域における公衆衛生看護活動プロセス (*学外)		無	学外
令和 3年01月26日(火) : (予定)	3時限	伊藤・田淵	産業保健領域における公衆衛生看護活動プロセス (*学外)		無	学外
令和 3年01月26日(火) : (予定)	4時限	伊藤・田淵	産業保健領域における公衆衛生看護活動プロセス (*学外)		無	学外
令和 3年01月26日(火) : (予定)	5時限	伊藤・田淵	産業保健領域における公衆衛生看護活動プロセス (*学外)		有	学外
授業形式・視聴覚機器の利用	講義と演習、第11～15回はまた学外にて見学実習の予定ですが実施方法・日時を変更する可能性があります。					
評価方法	演習（グループワーク）と個別課題レポートによって評価する。なお2/3の出席を評価の要件とし、最終評価には、授業時の意見や発言を加味する。					

教科書・ 参考文献	
学生への メッセージ	